

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援所はる 児童発達支援センター				公表日	R6年 12月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	17	・現在、限られたスペースの中で、事前の部屋割り振りを行い調整する。 ・今後、村上市に要請しつつ広いスペースの確保に努めたい	・スペースが足りずホールで支援することがある。 ・運動支援で園庭利用の有無。 ・日によって支援室が足りないことがある。 ・個別支援の場所が足りない時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	13	・未満児の利用に伴い、安全管理面から、マンパワーがより多く必要となります。人員の配置は基準を超える配置としていますが、その日によって対応可能範囲が変わるため、受け入れ人数を調整して、安全管理に努めています。	・休みの職員がいなければ適切。 ・未満児の利用が多い日には見守りの人員が足りていない時があるように思う。 ・トイレ介助に入る時、送迎の時間帯、送迎車への送り出しなどが重なる時間帯は大人の目が足りないと感じる事がある。月齢が小さい子、動きが大きい子、よつばいの子と大人が側に付いていた方がよい利用児が多くいる日は職員が手薄になる。 ・低年齢の子供が集中する日は、全く人員不足だと思われるため、もう少し配慮してほしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	26	5	・今後、村上市に要請しつつ広いスペースの確保に努めたい	・トイレのドアが開きづらかったり、床がポコポコしている箇所がある。 ・児童発達支援センターのトイレが古く、暗い為、配慮が必要なお子さんは特にトイレに入りにくい様子があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	28	3	・今後、村上市に要請しつつ広いスペースの確保に努めたい	・基本的に人数の割に建物が狭く、支援道具なども増えているため狭く感じる。またトイレの修繕をお願いしたい。 ・別館のトイレ空間を苦手とする子がいる。 ・外部や保護者の来所が多いので、各職員が玄関やカウンターの整理整頓を心掛けることが必要と思われる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	29	2		・検査の際に扉のある個室を使用させてくれる点。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	28	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	27	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	31	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	31	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	30	1		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	30	1		
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26	5		・週1回の会議で情報共有できている点。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	29	2		

適切な支援の提供	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	31	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	26	5		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	31	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	30	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	6		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	11	支援終了後には、次の支援があり、常に流動的に業務が行われている、ただし、関係者との情報共有時間は各自で行う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	31	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	31	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	31	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	30	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29	2		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	26	5		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	29	2		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	29	2		
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	26	5		
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	30	1		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	31	0		
	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	30	1		
	35	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	31	0		
	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	31	0		

保護者への説明等	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	31	0		
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	28	3		
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	30	1		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	30	1		
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	30	1		
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	30	1		
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29	2		
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31	0		
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31	0		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	31	0		
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	29	2		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	30	1		
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	31	0		
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29	2		
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	30	1		
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	30	1		